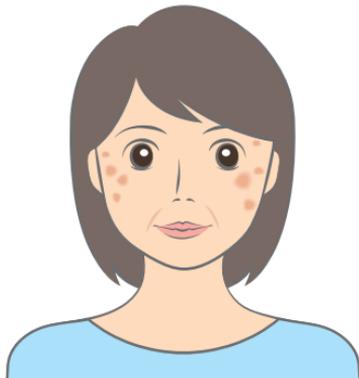


マスクを取ったときに顔のシミが気になります
“老人性色素斑”はレーザーで治療します
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

老人性色素斑の症状



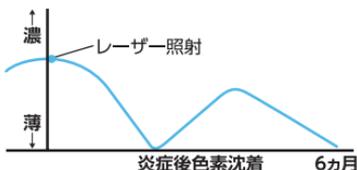
マスクを外す場面が増えます。20代でも出現し、60代になると多くの人の見えます。メイクでも隠しきれないシミについて、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、立川皮膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。

「顔のシミについて教えてください」

「顔面の、特にこめかみやほおなど日光（紫外線）に多く当たる部分にできる濃い褐色のシミの多くは老人性色素斑です。院では1冊3300円で」

「治療方法は？」

「レーザー照射で治療が当たる部分にできやすく、手の甲、腕の前面などにもできます」



レーザー照射後、一時的に色素沈着で皮膚の色が濃くなっても、時間とともに落ち着いていきます

「一過性の色素沈着が起る場合があります。徐々に落ち着きますが、気になる場合は、レーザーの再照射を行います。なお、老人性色素斑に似た疾患に、基底細胞がんや悪性黒色腫があります。特に悪性腫瘍の疑いがあれば、治療を始める前に皮膚組織の組織検査を行います。まずは皮膚科で鑑別を受けてから治療しましょう」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

2022年6月24日付 「リビング多摩」に掲載されました